



# 内部被ばく生涯3ミリシテ考

福島県が二十日に発表した県民の内部被ばく調査で、双葉町の四七歳の男児二人の被ばく線量が生涯で三ミリシテと推定されるとされた。県は「健康に影響が及ぶ数値ではない」と説明。だが、男児がどこでどのように被ばくしたのかなど重要な情報は伏せたままだ。「生涯に三ミリシテ」という耳慣れない数字は、本当に安全を意味するかという疑問も残る。

(小国智宏、小倉貞俊)

県の内部被ばく調査は、計画的避難区域など比較的線量の高い十三市町村の住民を対象に、六月二十七日から始まった。九月三十日までで検査した四千四百六十三人のうち、男児二人が三ミリシテ、二ミリシテが八人、一ミリシテが六人。残りの四千四百四十七人が一ミリシテ未満だった。

各市町村が子どもや妊婦を優先に抽出し、順次、検査を行っている。

※「預託実効線量(mSV)」とは、体内から受けると思われる内部被ばく線量について、成人で50年間、子どもで70歳までの累積線量を表したものである。

	預託実効線量(mSV)				
	1未満	1	2	3	合計
川俣町	213(人)	—	—	—	213
浪江町	2608	5	2	—	2615
飯館村	627	—	—	—	627
広野町	5	—	—	—	5
楡葉町	372	1	2	—	375
富岡町	16	—	—	—	16
川内村	155	—	1	—	156
大熊町	173	—	1	—	174
双葉町	104	—	2	2	108
葛尾村	159	—	—	—	159
相馬市	2	—	—	—	2
南相馬市	8	—	—	—	8
田村市	5	—	—	—	5
合計	4447	6	8	2	4463

## ホールボディーカウンターによる内部被ばく検査の結果

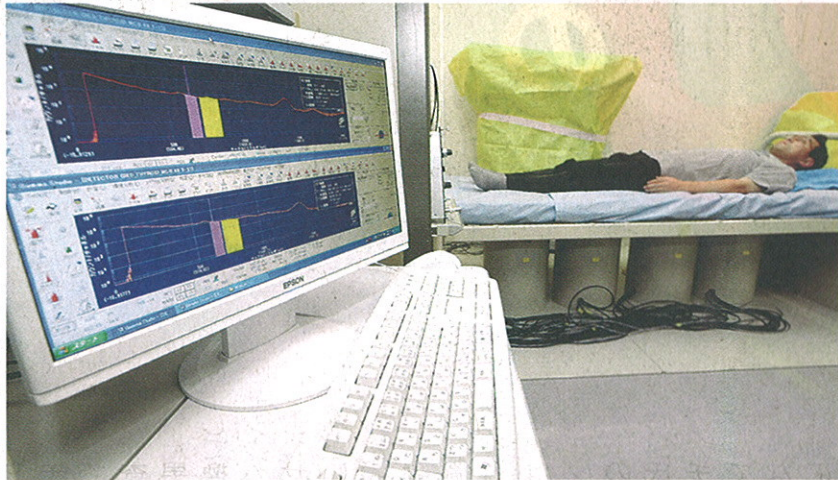
放射線医学総合研究所と日本原子力研究開発機構で、内部被ばくの検査機器ホールボディーカウンター(WBC)を使って行う。体内に残存して

いるセシウム137とセシウム134を測定。生で七十歳までの間の累積線量を換算して算出する。1号機が水素爆発した三。月十二日に一回で体内に取り込んだと仮定して、

出するのが大人より早い。ため、今後は検出されな安全委員会が七月下旬、外部被ばくと内部被ばくを合わせ規制値を「累積線量一〇〇ミリシテ」とする評価案をまとめている。

生生涯の被ばく線量をめ。県地域医療課は「生涯

公開された内部被ばくの検査機の「ホールボディーカウンター」。ベッドの下に放射線検出器が設置されている(被験者は放射線医学総合研究所の職員)＝千葉市稲毛区の同研究所で



# 汚染長引けば どんどん蓄積

で三ミリシテという値は、この規制値一〇〇ミリシテと比べてもかなり低い。検査機関からも健康には影響は及ばないとの回答を得ている」と説明する。

だが『放射線規制値のウソ』(緑風出版)を著した九州大の長山淳哉准教授は、「そもそも一〇〇ミリシテという数値がうなずけない。発がんなどには、『これ以下ならがんにならない』というしきい値はなく、リスクは存在する」と強調する。

また「三ミリシテはあくまでも現時点で計った値から推定していることを忘れてはいけない。食品などによる内部被ばくは今も続いており、汚染が長引けばどんどん蓄積されることになる」と話す。

食品安全委は十月中旬にも厚労省に最終的な評価結果を答申し、食品の新たな規制値作りへの議論が始まる。長山氏は「牛肉などでは一キ当たり五〇〇シテとなっている今の暫定規制値を十分の一以下にすることで、生涯被ばく線量を減らさなければならぬ」と力を込める。

霧囲気を楽しむ。また、この中心に、有機農法なれた食材が使われになり、英国の食心が高まるようになったという。

人生の楽園

HAB 静岡県南伊豆町、パン工房を営んだ夫妻の第二の



# ヨウ素・ベータ線考慮せず

番組表の記号の見方

②2カ国語放送 ④音声多重放送 SS臨場感のある高音質 ⑤文字放送 S1S2 ⑥標準画質による複数番組同時放送 ⑦データ放送 ⑧双方向